

明日の夢、人から人へ。あなたの「みやぎん」を目指して

miyagin

宮崎銀行情報マガジン

Information
2020

Take Free

ご自由にお持ち帰り下さい

【特集】事業承継型M&Aでつながった郷土の味

新生ゴローズの船出

トップメッセージ

地域とともに新しい未来を
創りあげていく

2019 年度決算ハイライト

持続可能な開発目標「SDGs」の趣旨に賛同

みやぎん SDGs 宣言



地域とともに新しい未来を 創りあげていく

杉田 浩二 *Koji Sugita*

Top Message



Profile

すぎた こうじ
1958年10月22日生
宮崎県出身
1981年九州大学経済学部卒、
宮崎銀行入行
2012年取締役
2015年常務取締役

皆さまには、平素から宮崎銀行をご利用、お引き立
ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、定時株主総会後の取締役会におきまして
選任され、代表取締役頭取に就任いたしました。当行は、
経営理念である「地域との共存共栄」のもと、地域の発展、
健全経営に努めてまいりました。引き続き、地元重視
の経営を旨とし、「不易流行」の精神で新たな時代の変
革を取り込むことで、地域社会の成長に貢献してまい
ります。

今般の新型コロナウイルス感染拡大によって多大な
影響を受けられた皆さまに対して心よりお見舞いを申

し上げます。地方銀行の使命は、資金の提供や金融サー
ビスを通じて、お客さまや地域社会をしっかりと支え
ていくことです。宮崎県では、10年程前、リーマンショッ
クに続く、口蹄疫の発生や新燃岳の噴火災害等から復
興した経験があります。この経験を糧に、コロナ禍か
らの一日も早い復興に向けて、役職員一丸となって誠
心誠意取り組んでまいり所存です。

さて、2020年3月期を最終年度とする前中期経営計
画「お客さま成長力No.1銀行」（計画期間：2017年4月
～2020年3月）では、「みやぎん三本の矢」である「地
方創生」「事業性評価」「女性活躍推進」に重点的に取

り組み、「業務品質の向上」と「収益力の強化」に注力
しました。南九州の基幹産業である農業を軸とした地
方創生や、地元企業への本業支援を通じた取り組みに
おいて、着実に成果を残すことができた3年間であつた
と評価しています。

一方で、地方経済の現状に目を向けますと、少子高
齢化に伴う人口減少や、後継者不足による休廃業の増
加といった中長期的な課題が、一層深刻な状況となっ
てきています。また、地方経済のグローバル化や、急
速に進化するIT・デジタル化、人生100年時代の到来等、
社会構造は大きく変化しようとしています。地方銀行
である当行の存在価値は、このような環境下において、
さまざまな課題にしっかりと対応し、地域とお客さま
の成長を後押しすることにあります。こうした問題意
識のもと、2020年4月から新たな中期経営計画「With
You」をスタートさせました。

中期経営計画「With You」の一つ目の基本方針であ
る「With Region～地域とともに」のゴールは「地方創生」
です。SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成のため、
地域社会の持続的な成長を実現してまいります。また、
多方面とのアライアンスを進化・発展させることで、
従来の銀行業務にとらわれない取り組みを展開してい
きます。

二つ目の基本方針「With Customer～お客さまともに」
では、多様化するお客さまのニーズに徹底してお応え
するコンサルティング営業を推進してまいります。資
産形成や本業支援にかかるソリューション提供の体制
を整え、地域から信頼される「ファーストコールバンク」
を目指します。

そして、三つ目の基本方針は「With Innovation～イ
ノベーションとともに」です。地域・お客さまの利便
性や効率化の向上につながるIT・デジタル化を強力に推
進することで、イノベーションを促進し、新たな成長
機会を創出してまいります。

また、経営理念の浸透と健全な企業文化の醸成を目
的に、2020年3月に役職員の行動規範として「みやぎ
んフィロソフィ」を制定しました。宣言の「Design
Future With You」には、「地域とともに新しい未来を
創りあげていく」という強い想いを込めております。
当行はこれからも地域のリーディングカンパニーとし
て、果敢にチャレンジしてまいります。引き続き、宮
崎銀行をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上
げます。

株式会社メモリード宮崎

冠婚葬祭業を中心に、ホテルやレストランなど幅広い営業展開を行っています。

代表取締役社長
吉田 明夫さん

株式会社 ゴローズ・プロダクツ

宮崎県内8カ所にお菓子の専門店「ゴローズ」を展開。障がい者雇用も積極的に行っています。

会長
内田 五郎さん

事業承継型 M&A でつながった郷土の味

新生ゴローズの船出

お菓子の専門店ゴローズを展開するゴローズ・プロダクツ。内田五郎社長（当時）は、後継者が不在であることから会社の将来に危機感を募らせていたといいます。その後継者問題を解決したのは M&A による事業承継でした。

将来への不安

1982年、宮崎市の若草通近くにあるビルの地下一階にオープンした小さなケーキ店は、その後、宮崎県民であれば知らない人はいないほどのお店へと成長しました。

そのお店を立ち上げたのは、東京で修行を積んだ内田五郎さん。以来、37年にわたって最前線に立ち続けてきた内田さんですが、近年はお店の将来について不安を抱えていたといいます。

「8年前に脳梗塞で倒れてから、体調面の不安がありました。それと、今68歳なのですが、商品決定の会議などで社員とのギャップが出るようになり、そろそろ若い人たちにバトンタッチしなければならないと感じていました。そんな折り、一昨年の暮れにまた入院してしまったんです」

M&Aによる事業承継へ

内田さんには海外在住の娘さんがいるのですが、たまたまそのとき帰省しており、奥さんと家族三人で、「このままではまずい」という話をされたそうです。

「後継ぎがないという厳しい現実には直面し、どうしたものかと悩ましました」

「税理士さんなどに相談したのですが、打開策が見つからない。そんなタイミングで、宮銀さんがM&Aの話を持ってこられたんです」

「ただ、話をいただいたものの、果たして本当に買い手企業が現れるのだろうか、というのが正直なところでした」

お互いにメリットのある話

内田さんいわく「駄目元」で進み出したM&Aですが、すぐに前向きに考える企業が現れました。宮崎県内で冠婚葬祭業を営む『メモリード宮崎』です。

「宮銀さんから話を聞いてすぐに手を上げました」と話すのは、同社の吉田明夫社長です。

「当社としては、結婚式や葬儀で使うケーキやお菓子を内製化できるし、ゴローズさんにとってはクリスマス

など繁忙期以外の売上を確保できる。お互いにとってメリットがある話だと思ったんです」

そして、2019年12月9日、同社はゴローズ・プロダクツの全株式を取得し、グループ会社化。会葬品に使うクッキーを製造するなど、すでに新たな取り組みが始まっています。

「今後は人の交流を行うなどして、両社に新しい風を吹きこんでいきたいですし、新商品の開発にも積極的に取り組んでいきたいと考えています」

社員に広がる安心感

内田さんの予想に反して、とんとん拍子に進んだ今回のM&A。内田さんが譲渡先への条件としてあげたのは、社員の継続雇用でした。

「やはりずっと一緒にやって来た社員のことが気になりますよね。うちには障がいを持っている人が10人以上働いているのですが、彼らも含めて全員雇用してもらえることが条件でした」。

それと、ゴローズというブランドの価値を、自分が思っている以上にまわりの方々が評価してくださっている。その人たちの期待に応え続けていただけるかも大切なポイントでした。

だから、メモリードさんのようなしっかりとした企業に手を上げていただいて本当に良かったです。

結果が出るまでにはまだ時間がかかると思いますが、社員は安心感を抱いているようです。それはそうですよね。社長はとんとん年を取る



し、昔のような気合はなくなっていく(笑)、この先ゴローズはどうなってしまうんだろうと思っていたでしょうから」

新生ゴローズへの期待

M&Aによって再スタートを切ったゴローズ。会長となった内田さんは、新たな風が吹くのを楽しみにしています。

「年を取ったせいもあって、かつては徹底していたようなことも妥協してしまうようになっていました。メモリードさんには、そこを引き締めてもらって、かつてのような厳しさを取り戻していただきたいと思っています」

「今回のM&Aは、37年間、一生懸命やってきたことへのご褒美だと思っています。メモリードさんと一緒にすることで、自分たちだけでは考えもしなかったことにチャレンジできるようになりました。そして、5年後、10年後のビジョンを描くことができるようになった。これは本当にありがたいことです」

「これからも宮崎のみなさんにゴローズの味をこれまで通り、いや、これまで以上に届けようという目標を持っていきますよ」

Voice

「With You」の精神で地域活性化に貢献したい

ゴローズという歴史のある宮崎ブランドと従業員の方々の雇用が守られ、メモリード宮崎さまの事業にも相乗効果が期待できる理想的な資本提携だと感じています。後継者不在により廃業を選択する企業が多い中、M&Aで地域活性化に少しでも貢献したいと思っています。これからは「With You」の精神で人と人、企業と企業のつながりを大切に取組んでいきます。



地方創生部
事業承継・M&A支援室
早樋 亮哉

中期経営計画「With You」が スタートしました！

計画期間：2020年4月～2023年3月

当行の使命は「地域の新しい未来を実現する」こと。現状予測されている未来ではなく、当行が主体的に、地域の成長について考え、行動することで、新しい未来を創りあげるといことです。そして、この地域の新しい未来を実現することこそが、当行の持続的な成長につながるという考えのもと、中期経営計画「With You」を策定しました。名称「With You」には、「地域・お客さまの成長、そして当行の成長とともに実現していく」という想いを込めています。

中期経営計画概要～コンセプト～

宮崎銀行は、地域社会との共存共栄を目指し、
①共通価値創造と金融仲介機能による企業の成長支援
②家計の健全な資産形成支援
に取り組むことで、2030年に地域の「新しい未来」を実現します。



中期経営計画指標		2022年度
収益性	3年累計 経常利益	300億円
	ROE (※1)	4.5%以上
効率性	OHR (※2)	69%未満
健全性	自己資本比率	8%以上
	総貸出金残高	21,600億円
成長性	預金残高	27,000億円

※1 / ROE=当期純利益÷自己資本 ※2 / OHR=経費÷コア業務粗利益

みやぎんフィロソフィ

中期経営計画「With You」では、経営理念である「地域との共存共栄」の浸透と健全な企業文化の醸成を目的に、役職員の行動規範として、新たに「みやぎんフィロソフィ」を制定しました。

「みやぎんフィロソフィ」では、金融サービスを通じて地域の発展に貢献することを公に宣言し、当行グループが大切にしている、5つの価値観を定めました。地域の新しい未来を創るため、グループ全従業員で共有し、日々の業務の中で実践してまいります。

宣言

「Design Future With You」

わたしたちは、地方銀行です。
わたしたちは、金融サービスを通じ、地域の持続的な成長を実現します。

大切にしている価値観

- ① Family お客さま、株主さま、従業員はわたしたちの家族です
- ② Diversity わたしたちは、お互いの多様性を尊重します
- ③ Global わたしたちは、グローバルな視野で考案します
- ④ Innovation わたしたちは、先端技術を取り入れ、新たな価値を提供します
- ⑤ Challenge わたしたちは、時代の波をとらえ、果敢に挑戦します

基本方針

地域やお客さまの成長と当行の成長の両立に向けて、戦略の基本方針として、「With Region」、「With Customer」、「With Innovation」の3つを掲げています。

「With Region～地域とともに」

地域の新しい未来の創造と、経済の持続的な成長の実現に向け、SDGsを経営戦略に取り込み、地域の発展や成長に貢献してまいります。

「With Customer～お客さまとともに」

信頼できる「パートナー」として、お客さまのニーズをしっかりと把握し、当行グループ一体となって適切なソリューションを提案する「コンサルティング営業」を推進してまいります。また、ライフプランに即したご提案によって、お客さまの長期的な資産形成を実現します。

「With Innovation～イノベーションとともに」

最終ゴールは、当行・お客さま・地域のIT化を進め、それぞれが持続的な成長を実現することです。先端技術を取り入れることで、新たな金融サービスの提供と業務の改革を進めるとともに、地域・お客さまのIT・デジタル化をサポートいたします。

計数計画について

計数計画はこれまでと異なり、3年累計の数字を採用しています。初年度からスピード感を持って戦略・施策を実行し、その効果を最大限に発揮することを目的に、経常利益の目標累計額を300億円としています。

地方銀行を取り巻く環境は、一層厳しさを増しておりますが、宮崎銀行グループの全従業員が一丸となり、地域の新しい未来に向かって突き進み、持続可能な成長の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

前中期経営計画「お客さま成長力 No.1 銀行」の結果について

前中期経営計画「お客さま成長力No.1銀行」(2017年4月～2020年3月)では、お客さま本位の業務運営を徹底し、「付加価値の高いサービス」の提供に取り組んでまいりました。その結果、自己資本比率については、劣後債務の償還や地元への貸出に注力した結果、リスクアセットが増加し計画比未達となりましたが、その他の項目は順調に推移し、当初の計画を達成いたしました。

前中期経営計画計数

中期経営計画指標		2020年3月期 実績 ①	2020年3月期 (中計最終目標) ②	差異 ①-②	結果
収益性	経常利益	110億円	100億円	+10億円	○
	ROE	5.16%	5.00%	+0.16%	○
効率性	OHR	64.15%	69.00%	△4.85%	○
健全性	自己資本比率	8.31%	9.00%	△0.69%	×
成長性	総預り資産残高(※)	30,340億円	30,000億円	+340億円	○
	総貸出金残高	20,766億円	20,000億円	+766億円	○

※総預り資産残高=総預金残高+預り資産残高

みやぎんSDGs宣言

2020年3月、国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同し、「みやぎんSDGs宣言」を制定しました。

宮崎銀行は、持続可能な開発目標「SDGs」の趣旨に賛同し、その目標達成に向けて、役職員一人ひとりが主体的に取り組んでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称です。国連は2015年に世界の国々や人々が取り組むべき共通の課題、具体的には気候変動への対応や貧困・飢餓の解消、教育機会の平等など17の目標と169のターゲットを設定し、それらを2030年までに達成することを採択しました。「誰一人取り残さない」と宣言しているのも特徴です。

持続的な成長を実現するには、地球環境に過度な負荷をかけないといった規制の強化も求められており、企業活動や投資にも影響を及ぼし始めています。

当行は「地域社会との共存共栄」を経営理念に掲げており、従来から地域の持続的な成長に向けた取り組みを行ってまいりました。

SDGsの趣旨は、当行の経営理念とも一致するものであり、「みやぎんSDGs宣言」の制定により、地域社会の持続的な成長に資する取り組みを一層強化してまいります。

取り組み内容

持続可能な地域経済の成長

私たちは、お客さま本位のビジネスモデルを確立するとともに、金融仲介機能の質の向上を図り、金融サービスを提供することで、地域経済の持続的な成長・発展に貢献します。



主な取り組み

SDGs/ESG関連投融资
(新規実行額)

3カ年累計1,000億円

持続可能な地球環境の形成

私たちは、環境にやさしい経営に積極的に取り組むとともに、お客さまの環境改善にかかる活動をサポートすることで、地球環境の保護に努めます。



主な取り組み

行内温室効果ガス削減
(2017年度比)

10%削減

持続可能な地域社会の実現

私たちは、責任ある企業経営を行うとともに、お客さまや地域社会の課題や要請に速やかに対応し解決を支援することで、豊かな地域社会の実現に取り組めます。



主な取り組み

SDGs普及セミナー開催
(3カ年累計)

100回

持続可能な地域経済の成長

主要な取組事項

行外への取り組み

- ・貸出、本業支援ソリューションの深化
- ・新サービス(人材コンサル等)の提供
- ・ライフプランコンサルティングの強化
- ・地公体ほか連携を通じた地方創生
- ・事業性評価を活用した経営(成長・再生)支援
- ・ビジネスプランコンテストの開催
- ・大分銀行との連携協定に基づくインバウンドツアー
- ・環境省・地銀4行連携協定に基づく観光活性化支援



日南市・高千穂町とのキャッシュレスに関する連携協定(2019年7月)



各地区のイベントにおいてキャッシュレスを推進

行内での取り組み

- ・地域商社の設立
- ・行内ベンチャー制度の導入
- ・「夢違いファーム」を通じたアグリ分野への取り組み



女性起業家ビジネスプランコンテスト

持続可能な地球環境の形成

主な具体策

行内の温室効果ガス削減

- ・ペーパーレス化の推進(紙使用量削減)
- ・電気自動車の導入(ガソリン使用量削減)
- ・太陽光発電の導入(電力使用量削減)
- ・店舗等への省エネ設備の導入(電力使用量削減)

その他の環境保全

- ・ESG投資による環境保全取り組みの推進
- ・地球環境配慮型サービス品の採用
- ・リサイクルの徹底推進
- ・環境省・地銀4行連携協定に基づく国立公園への植樹事業
- ・森林保全、清掃への積極的な参加



EV充電スタンド設置



太陽光発電設備



ペーパーレスによる会議開催

持続可能な地域社会の実現

主な具体策

SDGsの普及に向けて

- ・SDGs啓発ツールの作成
- ・行員の人財育成(「SDGs入門講座」全員受講)
- ・外部への講師が可能な人財の育成
- ・外部向けセミナーの開催

持続可能な地域社会の実現に向けて

- ・金融リテラシー向上に向けたセグメント別セミナー等の開催
- ・多業態との連携による女性活躍推進事業の展開
- ・金融商品等の開発による寄付制度の導入
- ・健康経営、ダイバーシティの更なる推進
- ・「働き方改革」の推進
- ・多様性を考慮した店舗設計



お客さまに広くSDGsを知っていただくことを目的に、全職員がSDGsバッジの着用を開始



ユニバーサルサービス研修



各年代に対応したリテラシー教育



地域の清掃活動に参加しています

2019年8月、宮崎県を代表する大淀川上流にある年見川流域を中心に開催される「いきいき大淀川クリーン大作戦」に、都城地区13店舗より100名を超える役職員が参加し、地域の環境整備・自然保護に努めました。また11月に実施された「小さな親切運動クリーンアップ宮崎」には、200名を超える行員とその家族が参加し、宮崎市街地の清掃に取り組みました。地域の皆さまとともに、役職員一人ひとりが地域の美化活動に取り組んでいます。



森林整備活動「みやぎんの森」

2010年より宮崎市鏡洲にある「みやぎんの森」において森林整備活動を行っています。これまで、約8haの森に桜やもみじ、イチヨウなど約4,000本を植樹しました。美しく健全な森を次世代に引き継ぐため、植樹や下草刈りなどを通してふるさとの森を守り育てる活動に取り組んでいます。



環境省・地銀4行の連携協定締結

2020年1月、環境省九州地方環境事務所・肥後銀行・大分銀行・鹿児島銀行と「中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定」を締結しました。国立公園満喫プロジェクトでの連携やSDGsに関する啓発活動、SDGsに資する金融商品等の展開等により、各地域の自治体・地域金融機関の連携を図ります。連携各県共通の地域課題を解決するため、情報共有・連携し、持続可能な社会の実現に貢献します。



地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」受賞

2019年4月、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局より、当行で行った「地方創生プラットフォームアプリ」の実証実験が「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定され、表彰を受けました。ビーコン技術を活用し、お客さまのニーズに合った情報を配信することで、消費拡大による地域経済の活性化に貢献することを目指す取り組みです。今後も、地域経済の発展・成長に向けてさまざまな取り組みを行ってまいります。



CSR型私募債「With」で地域貢献

みやぎんCSR型私募債「With」は、私募債を発行するお客さまからいただく手数料の一部を優遇し、その優遇分を原資として、地域の学校、医療・福祉施設等、お客さまが希望する団体等へ寄付するものです。2018年5月から取り扱いを開始し、2020年3月末までに152件、114億4千万円の引き受けを行いました。CSR型私募債の発行により、資金調達と同時に社会貢献活動に取り組むことができます。この取り組みを通じて、お客さまの社会貢献を応援します。

大分銀行との連携協定に基づく取り組み

2019年3月に大分銀行と締結した「地方創生に関する包括連携協定」に基づき、地域間連携による地方創生の取り組みを展開しています。両行が実施する預金共同キャンペーンでは双方の地元特産品を景品として採用したり、両行のお取引先企業のマッチングによる新商品の開発支援を行うなど、地域ブランドの発信、知名度向上に努めてきました。また、2019年10月には両行が運営を行う女性経営者の会(宮崎銀行：彩色賢美、大分銀行：花凛)のビジネス交流会を合同で開催するなど、交流人口の増加促進を図っています。



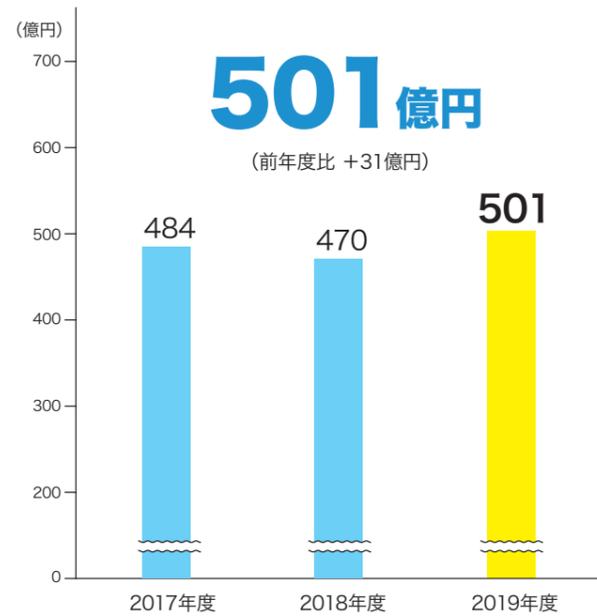
夢逢いファーム PROJECT

新たなビジネスモデルの構築を目指し栽培を始めたアボカドが、2019年秋、初収穫を迎えました。12月には行内での試食会も行われ、定植から2年の歳月を経て収穫することができた喜びを皆で分かち合いました。また南九州大学との包括連携協定に基づき、共同で油分調査およびデータ分析を行い、アボカドの食べ頃を研究しています。高鍋農場ではキウイフルーツに続き、2020年2月にレモン(璃の香)を800本定植し、3月には南九州大学とのコーヒー栽培の共同研究も始まりました。今後も引き続き、若者に夢を与えられるような新しい農業のビジネスモデルの構築に取り組んでまいります。

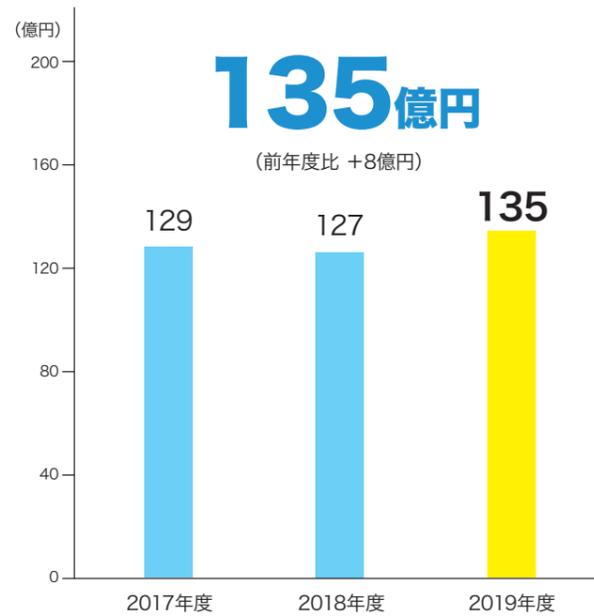


「リスボンレモン」と「日向夏」をかけ合わせた、日本生まれの新品種「璃の香」

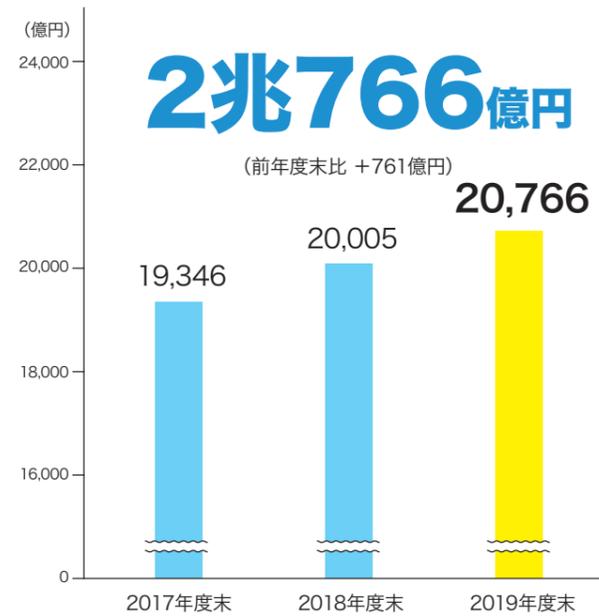
経常収益



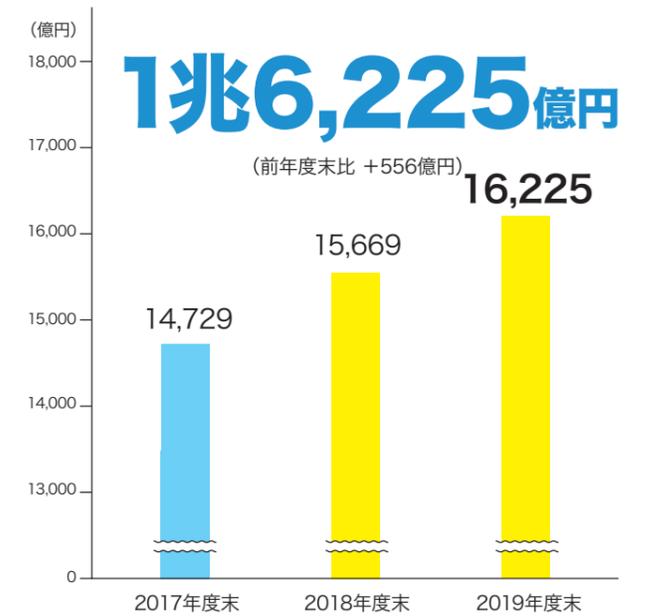
コア業務純益



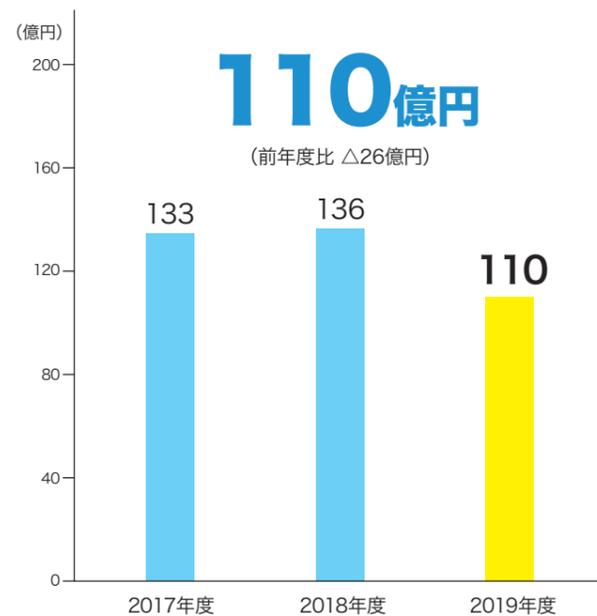
貸出金残高



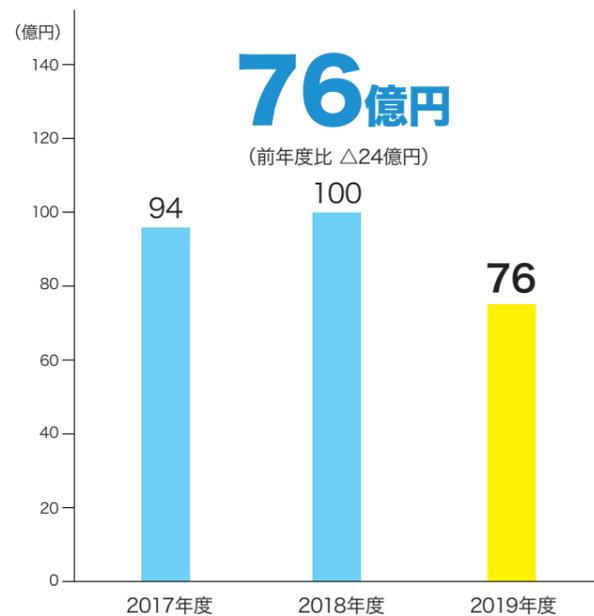
中小企業等貸出金残高



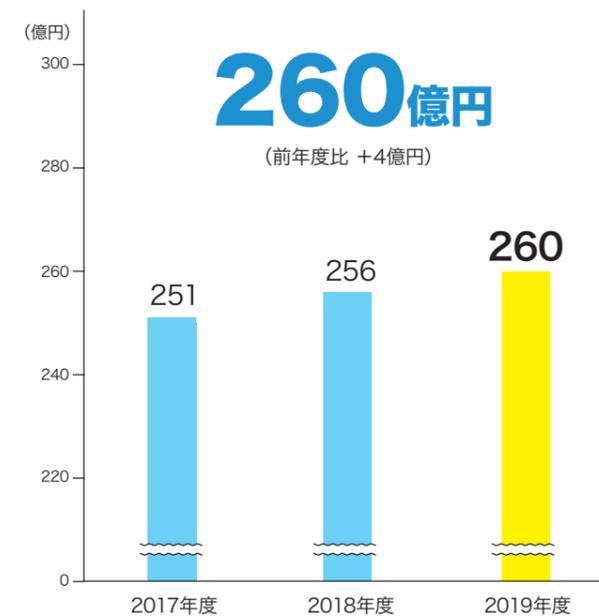
経常利益



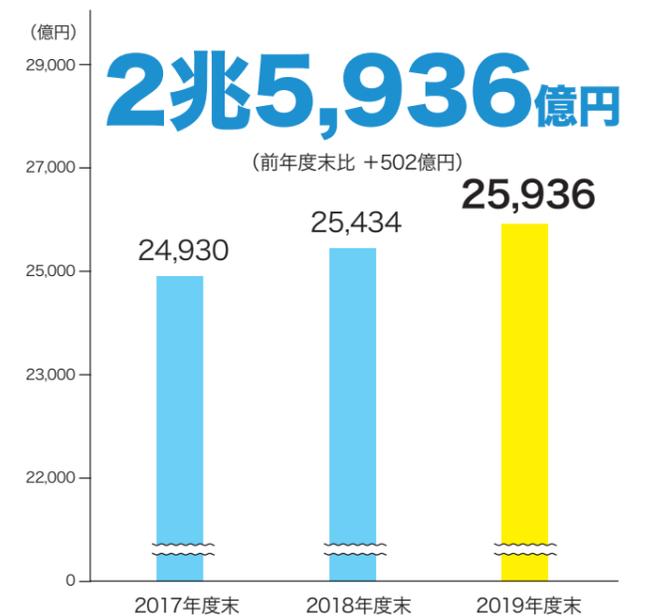
当期純利益



貸出金利息



預金等残高



株式についてのご案内

- 事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 定時株主総会/毎年6月に宮崎市で開催いたします。
- 配当金/期末配当金は、毎年3月31日現在の株主の皆さままたは登録株式質権者さまに定時株主総会終了後、お支払いいたします。中間配当を行う場合は、取締役会の決議により毎年9月30日現在の株主の皆さままたは登録株式質権者さまに、お支払いいたします。なお、配当金のお受け取りには、当行本支店、出張所の預金口座

- へのお振り込みをご利用いただきますと、早くて便利です。
- 基準日/定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 公告方法/当行ホームページへ掲載いたします(電子公告)。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、宮崎日日新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人/東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

- 同事務取扱場所/福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店 ☎(092)741-0284
- 郵便物送付先・お問い合わせ先/〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843
- 各種手続きのお申し出先/①未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申し出ください。②住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等については次のとおりお願いいたします。

- (1)証券会社をご利用の株主の皆さまは、お取引の証券会社へお申し出ください。
- (2)証券会社をご利用でない株主の皆さまは、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申し出ください。

©2019年度の詳細な決算情報が記載されたディスクロージャー誌「資料編」は、2020年7月末に当行ホームページに掲載いたします。

あなたの
スマホに、
ATMを。



銀行の枠をこえた
新しいキャッシュレス、
はじまる。

J-Coin Payで できること



お金を送る

いつでも手数料0円で送れる。



お金を送ってもらう

割り勘だって、スマホで完了。



お店で支払う

お財布いらずで、ササッと会計。



お金をチャージする



お金を口座に戻す

すべて手数料 **0** 円

※本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信費用が必要です。

加盟店にもメリットが たくさん!

初期費用0円*1*2だからはじめやすい。



お手持ちの
スマホやタブレットでOK。
小規模店舗や
屋台でもお手軽に。

*1 お手持ちのスマホ、タブレット利用の場合。 *2 別途通信料が発生します。

安価な加盟店料率*3を実現。



売上アップとあわせ、
店舗の利益拡大に貢献。
入金もスピーディー*4です。

*3 加盟店料率は各取扱金融機関等により異なります。
*4 入金サイクルは各取扱金融機関等によって異なります。

どこでも

対象口座数
約**5600**万人

全国のたくさんの
銀行が参画

全国展開の銀行に加え、
各地方銀行も参画。
確かな地盤で、
これまでにないサービス網へ。

■ お問い合わせ先

キャッシュレスサポートセンター

(フリーダイヤル)



明日の夢 人からへ
宮崎銀行

0120-444-588

受付時間/平日9:00~17:00



詳しくはこちら

Jコインペイ



●J-Coin Payは、みずほ銀行が提供するスマホ決済アプリです。●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料が発生し、お客さまのご負担となります。●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。●画像はすべてイメージです。●iPhone、Apple Watchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。●Android・Google PlayはGoogle LLCの商標または登録商標です。●対応OSはiOS10以上、Android5以上となります。なお、タブレットやiPadでの動作保証は致しかねます。●本アプリは決済機能を有していますので、セキュリティ等に十分注意し、スマートフォンおよびログインパスワード等を厳重に管理してください。

2020年6月現在